

校長室から見える風景

鹿児島市立長田中学校



多様性を認め合う雰囲気

～長年にわたり育まれる校風～

多様性を認め合う雰囲気をもつ長田中学校。昨年そのことを痛感する出来事があった。全校朝会や卒業式で紹介してきたエピソードについてここで触れたい。

今でも脳裏に焼き付いている学級弁論大会の一コマ。ある3年のクラスで目に留まった演題は、「人見知りを克服したい」。気になった私は教室の後ろに陣取った。弁者が前に進む。その後ろをもう1人の女生徒が続く。「？」の私は、寄り添っているんだなと理解した。

その子は原稿に目を落としていたが、意を決したように顔を上げた。しかし、また原稿に視線を落とす。5回ほど繰り返したのだろうか。私はドキドキしていた。どうなるのだろう。すると、担任の先生が2人に近づき、二言、三言、言葉を交わす。笑顔がこぼれた。「大丈夫だ」と安堵する私。俯いていたその子が顔を上げた。数秒後、また視線を下に向けた。三回ほど繰り返したが、教室は静まり返っている。

どこに着地点があるか逡巡していたその時、隣に寄り添っていた子が、原稿を覗き込み、小さな声で読み始めた。驚いた。こんなことができるのか。しばらくすると、とうとうその子も原稿を読み始めた。教室に二人の声が響く。しかし、小さく細い声である。学級の他の子たちはその時、全員が前傾姿勢で耳を傾けていた。「耳をそばだてる」とはこのことを言うのだろう。一人一人に思いを馳せる。寄り添う。そんな空気に包まれた学級の姿がそこにあった。

中学生ってこんな素敵な集団を作り上げる力がある。これは、もちろん中学校だけではなく、小学校等をはじめ、ご家族の方、地域の方、皆さんを取り巻く周りのすべての方々の結集された姿なのだと思う。人としてどう生きるか。その基本を学ぶこの時期に、この学び舎で様々な学びがあったことだと嬉しくなった。

旅立ちの季節

令和6年3月12日、105名の卒業生が長田中学校を巣立って行った。例年の光景ではあるが、校長一年目の私にとっては、一生忘れられないものとなった。特に式終了後の3年生による合唱は涙を誘った。しかし、この中には、思うような3年間を過ごせなかった生徒もいるはずだ。学校として十分なことができたかといえば決してそうではない。反省するばかりである。

卒業生のみなさんはこれから先、良いことばかりでは決してなく、様々な困難にぶつかるだろう。一歩も前に進めない時があるかもしれない。そんな時はゆっくり休むことも必要。そして、エネルギーがたまったら、少しずつ少しずつ歩み始めたらいい。人生100年時代。105色のそれぞれの輝きはいつか必ず放たれると祈り続けている。

そして、4月8日。多くの保護者の方やご来賓の方々の見守られる中、初々しい79名の新入生が入学した。温かな眼差しで見つめられる保護者の姿が印象的だった。この生徒たちの可能性をどれだけ引き出すことができるか。気持ちを新たに、誰一人取り残すことない長田中学校を創っていきたい。

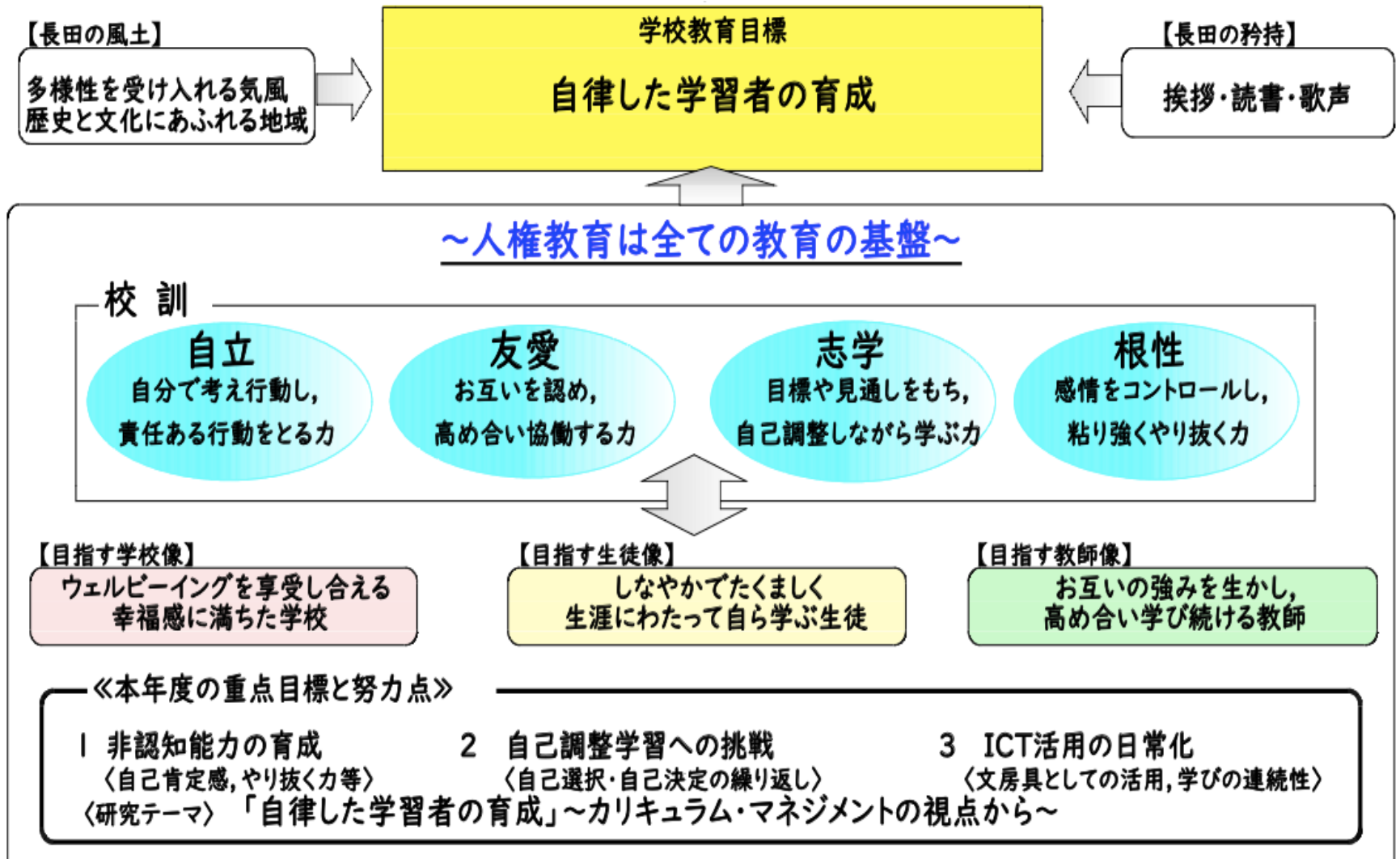


「校長室から見える風景」の発行に寄せて

ここ数年、長田中学校では昨今のAIの進展やデジタル化に伴い、ホームページの充実やブログの更新等により学校の情報を発信することとしていた。

しかし、ご高齢の方や地域の方になかなか情報が届かないこともあり、最善の方法を探りながらではあるが、学校だよりを発行することとした。町内会の方など、ご面倒をおかけするが、ご了解いただきたい。

令和6年度 長田中学校 グランドデザイン（教育方針）



自律した学習者とは

中学校では子供のいつの姿を見据えることが必要か

AIの進展に伴うデジタル化、少子化、高齢化、グローバル化など急激な社会の変化とともに、環境問題、経済の低迷、危うい国際情勢など、様々な課題は複雑化、多様化してきており、正解のない予測困難な社会が到来しつつあると言われている。そのような未来社会を見据え、私たち中学校教育に携わる者は、目の前の子供たちのいつの姿を見据えて、教育にあたる必要があるか……。15歳。つまり高校等への入学だろうか。いや、そんな短期的なものでは決してないはずである。子供たちが社会を担う20代、30代の頃を想定し、中学校で各教科や総合、学校行事など展開すべきであろうと考える。

経済が右肩上がりの昭和の時代であれば、先生から言われたことを正確に、早くできることが求められていた。他と異なることは指導の対象になったりもした。しかし、正解のない予測困難な世界では、社会人として求められる能力も変化しつつある。これからは他と違うことに価値がある。自分が何を考え、何を大事にし、どうしていきたいのか。「自律」とは自分を律すると書くが、自分で大切にしたいことや目標などを定めて、自分自身をコントロールしながら、それに従って判断・行動できることと捉えている。そこには「やらされる」というものはない。

自分の中に方角を示す羅針盤を持つイメージを思い浮かべてほしいと生徒たちには説明した。もちろん、自律のためには、「対話」や「協働」は欠かせない。今年一年「自律」をキーワードに教育活動を展開したい。

主な年間行事

- 4月8日 入学式 26日 PTA総会
- 5月13～15日 修学旅行（2年）
- 5月15日 街歩き体験（1年）
- 5月14～16日 職場体験（3年）
- 5月30日～6月7日 三者面談（1, 2年）
- 6月8日 土曜授業参観
- 6月11～14日 市総合体育大会
- 6月19～21日 1月期末テスト
- 7月5日 合唱コンクール（県民交流センター）
- 7月23日～三者面談（3年） 9月15日 体育大会
- 11月1日 文化祭（体育館）
- 1日～7日 県民週間（自由参観）
- 12日 3年 PTA・授業参観
- 13日～15日 2月期末テスト
- 12月6日 1・2年 PTA・授業参観
- 2月12～14日 学年末テスト
- 21日 学年・学級 PTA
- 3月12日 卒業式